

---

# ツナツナわーんど

世界は真っ青に染まっている

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ツナツナわーるビ

### 【Zコード】

Z8724S

### 【作者名】

世界は真っ青に染まっている

### 【あらすじ】

私の尊敬する万鬼一葉様の双子設定で2次創作しましたー(ノリ)では3次創作としておきます。)

死んだはずの私は気づいたら「THAT-s」の世界にいました。  
可愛らしい双子でハアハアしつつ、この世界で生きて行こう！頑張  
れ私！

注意！

この小説では読み手さんがどんな状前でも「一ナ」になります。脳内変換をフルに使って読んでください

万鬼一葉様へ

「双子はこんなこと言わない!」など 苦情があつたら、どうぞコメントお願いします!

## プロローグ

雨はとても憂鬱だ。豪雨が降る中、私は死んでしまった。歩道橋の階段を踏み外して、その際に頭をぶつけて即死。私は15歳という短い生涯を閉じた……

はずなのに、私は何故か見覚えのない公園のベンチで寝ていた。  
何処だろう、ここ。  
そして目の前にいるのは…

「あつ、起きた！」

つ  
て

この人って家庭教師ヒジヒランRIBBONのツナ！？  
しかも純真無垢のような顔つきのツナと眠そうなツナと2人ツナが  
いる。どういう世界だよコノヤロー。

「!? なんてツナの名前を知っています。」  
眠そうな方のツナがめちゃくちゃ警戒してる。  
それに対する

「大丈夫だよ綱吉。悪い人には見えないもん。」  
神キターハー！

やばー、純真無垢すぎるー！

解いたああああああおーー強こー強すざるのみ無垢ヅナーバー(アリナリモ  
略した)

略した

「えーと、おつかれ〜」  
「うーん」

「「さん」はつけなくていいよー。俺は沢田ツナヨシー・ツナって呼んでね！で、こつちが綱吉！」

「……繩吉だ。やれやれ……」

この設定何処かで見たような? 気のせいいか?

えー、この世界は「THAT-S-」の「双子」世界である」とを思い出しました。私です。  
え、何で思い出したかつて？

A：双子のラブラブつぶりを見たからさー！

まず時系列的にいえば、今は並中入学式前である事が双子の話で判明しました。（だから私服だったのかー）

そして私の住む家はほとんどの確率で沢田家です。（『じゅりの世界で』家がない事を話したら「じゃあ一緒に住もうー」といわれた。）

そして私、人生2回目の中学校入学をしようと思います！  
ちなみにきちんと身長とかも縮んでいるから大丈夫…なはず。  
これで双子の可愛い姿が…グヘヘ？生糰の変態  
そんなことを妄想してたうちに沢田家につきました！

そして私はいろいろ質問攻めにあいました！

「名前は何ていうの？」「…それが、思い出せないんです。（実際は覚えてます。）」

「じゃあ何処からきたの？」「…それも、思い出せないんです。（これも覚えてる）まあ気にしませんけど。」「それ大問題だろー？」

「じゃあ今何歳？」「12歳です。ツナたちと同じです。」……

やつと質問攻めが終わつたー。その結果私はこの家に居候する事や並中に入学する事、そしてこの世界の名前が決定しましたー。ちなみにこの世界での名前は「二十九」です。

さあ、待ってね！萌えだらけの世界！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8724s/>

---

ツナツナわーるど

2011年10月9日00時07分発行